

◆◆◆ コミュニティ会議報告【老人憩の家大江山荘・大淵荘】 ◆◆◆

【実施日・参加者】

大江山荘：3月7日（火）午前10時～午後1時 12人

大淵荘：3月8日（水）午前10時～午後1時 9人

1. 利用状況について

- コロナの影響で利用者が少ないから安心してお風呂に入れる。
- 亀田や東区、西区などから、車やバイクに乗って、お風呂に入りに来る人もいる。
- 料金が安いから銭湯よりいい。
- 一人暮らしの高齢者は、一人のためにお風呂を沸かすことや掃除をすることが重労働だから、風呂施設は残したほうがいい。
- 風呂がなくなると非常に困る。一人暮らしであるため、自宅で風呂に入ろうとすると、光熱費が高つく。風呂掃除も大変。ここに来れば光熱費もかからず、清掃も管理人がしてくれる。
- 高齢者にとって、管理人がいるところで、お風呂に入れるのは安心。
- みんな、顔馴染みだし、いい人が利用している。
- 自宅だとヒーターをつけても脱衣所が寒く、ヒートショックが心配。
- 入浴は、ほとんど毎日同じ人が来る。大寒波の時のように給湯器が壊れた時には新しい利用者はいたが、直ったら利用しなくなった。
- サークル活動の人は、お昼に帰るので、お風呂は入らない。
- 憩の家を利用しているような75歳以上の高齢者は、運転もしないし遠くに行けない人だけ。今が最大人数ではないか。
- 憩の家ができた時とは時代が違う。生活が変わって、若い人（60代）は働いたり、車で遊びに行ったり、孫の世話をしたりしている。憩の家のお風呂に入ることや、集まりに来ることはない。
- 60歳～75歳の人には来ない。75歳以上の人がほとんど。
- カラオケが解禁すれば、利用者は増えるかもしれない。
- サークルは、ダンスや体操があり、週1回または隔週1回になっている。
- コロナの影響で慰問などでのサークル活動発表の場がなくなり、目標がなくなった。活動に張り合いがない。

2. 老人憩の家大江山荘・大淵荘の今後について

- 市の再編の話はよく分かる。一方で、改善センターへ行くのが大変。近くに集まれる場所が欲しい。
- 近くに施設がないと歩いて行くことができない。農改センターだと利用者は少なくなる。
- これから高齢者が増え、免許返納も進んでいるのに、歩いて行ける場所に集える場所がなくなるのは逆行している。
- 憩の家はあった方がいいと思うが、この先については、下の世代が利用していないので、廃止されるのも仕方ない。
- 現役を退いて、憩の家にお世話になったが、市が話されているとおりでと思う。
- 老人憩の家の居場所機能については、自治会の集会所を使うこともできる。また、大江山の全自治会が集会所を持っている。
- 自治会の集会所は自治会が管理しているため、使いにくい。また、ほかの自治会の人間だとお金がかかる。
- 地域の集まりは、自治会の集会所でやっていて、結構使われている。集まるだけの部屋しかない集会所との差別化を図れなければ、老人憩の家をわざわざ使うということはないだろう。
- 老人憩の家がコロナ対策で飲食に制限があるから、集会所を代わりに使っている。
- 老人憩の家は、年寄りの施設というイメージがある。名前を変えればいい。
- 入浴料を上げればいい。月 1,000 円は OK。200 円/回はしょうがない。
- これから、若い人（60 代）が来るかどうか存続への課題。
- 集約するのであれば大きい施設（風呂）を整備してほしい。小さい施設は無くなっても良い。

3. その他

- 管理人のなり手が無い。（70 歳以下、夫婦等条件が厳しい）
- 大江山は大形駅や亀田駅なども近いし、高速道路やバイパスも近く、交通面では、いいところだが、車がないと不便。歩ける範囲の商店は減っている。
- 土地柄も人間性もよい地域だと思う。
- ワークショップには憩の家を利用している人がいない。それでは困る。
- 大江山は保育園が閉園するなど、どんどん不便になっていく。
- 子どもばかり大事に手厚くしている日本だが、高齢者を無視しないでほしい。若い頃は日本のために働き、支えてきた。高齢者も大事にしてほしい。